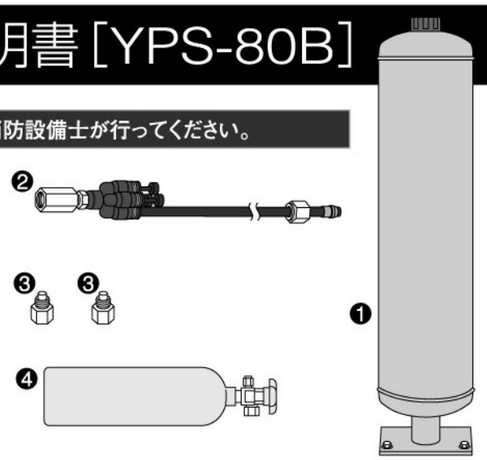
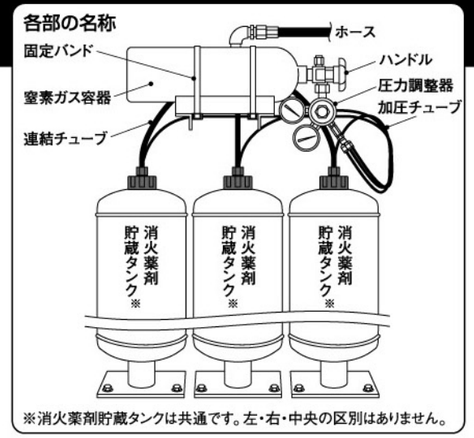
消防検査用取扱説明書［YPS-80B］

この作業は第一類、第二類または第三類の消防設備士が行ってください。

■消防検査用セット品

名　　称	個　数
❶消防検査用タンク（バルブ付）	1本
❷消防検査用加圧チューブ	1組
❸連結チューブプラグ	2個
❹窒素ガス容器	1本





※消火薬剤貯蔵タンクは共通です。左・右・中央の区別はありません。

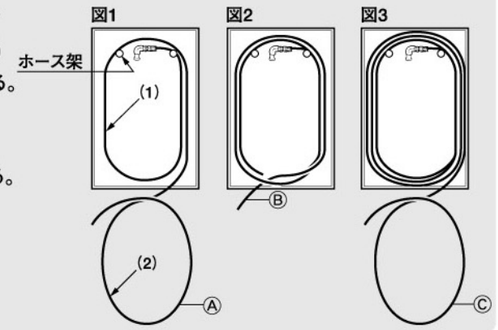
ホースの巻き方

格納箱の中にラック式に巻きます。使用の際、ホースがねじれないように引き伸ばせる巻き方を必要とします。基本として8の字形に巻きます。

※ホースをあらかじめ直線状にのばした後、巻いてください。

（8の字巻きの方法）

[1]・最初の1巻きをホース架に架ける。（図1）
[2]・ホースを輪にしⒶ部をホース架に架ける。（図1→図2）
[3]・Ⓑ部をホース架に1巻きかけた後、ホースを輪にしⒸ部をホース架にかける。（図3）
[4]・[3]を繰り返す。



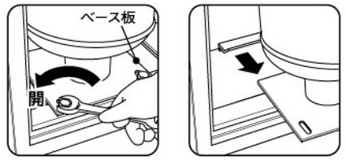
A・消火薬剤貯蔵タンクを消防検査用タンクに1本だけ入れ替えます。

1・❶消防検査用タンク上部のバルブカバーを外してバルブを取り出し、規定量の水（27L）を入れてください。充てん後、バルブを取り付け、バルブカバーを締め付けてください。

2・消火薬剤貯蔵タンクと加圧チューブを接続している袋ナットを3本すべて外し、加圧口接続金具に加圧口キャップを取り付けてください。（消火薬剤がこぼれる恐れがありますので、必ず加圧チューブを先に取り外してください）

3・左側・中央・右側消火薬剤貯蔵タンクの上部から連結チューブを3本すべて取り外し、バルブに、バルブキャップを取り付けてください。
外した3本の連結チューブのうち2本に、❸連結チューブプラグを取り付けてください。

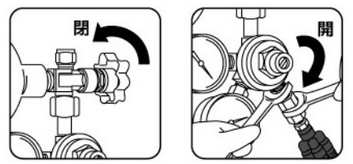
4・❶消防検査用タンクと入れ替える消火薬剤貯蔵タンクベース板のボルトを外し、消火薬剤貯蔵タンクを格納箱から取り出してください。



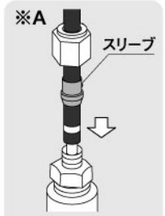
5・水の入った❶消防検査用タンクを格納箱内に乗せ、ずらしながら格納箱に入れ、所定のツメにベース板を押し込んでください。ベース板の穴に格納箱のボルト穴を合わせて、ボルトを完全に締め、ベース板を固定してください。

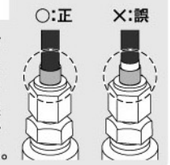
B・加圧チューブを取り替えます。

1・窒素ガス容器のハンドルを右に回して「閉」になっていることを確認し、圧力調整器の接続部をゆるめ、ガスの残っていないことを確かめてから加圧チューブを外してください。



2・❷消防検査用加圧チューブ（1本だけのもの）を、圧力調整器の接続部に接続し、締め付けてください。





※スリーブから白線が見えている状態ではチューブの差し込みが不完全です。白線が見えなくなるまで差し込んでください。

3・先に❷消防検査用加圧チューブを❶消防検査用タンクの加圧口接続金具にきっちりと差し込んでください。袋ナットを締め付けるときは、**❷消防検査用加圧チューブを押しながら工具を使って締め付け、手で抜けないか確認して**ください。［※A図参照］

4・次に連結チューブをバルブにきっちりと差し込んでください。袋ナットを締め付けるときは、**連結チューブを押しながら工具を使って締め付け、手で抜けないか確認して**ください。［※A図参照］

C・放射します。

銘板に書いてある使用方法に基づいて操作してください。

1・ガス容器のハンドルを左（全開）に回してください。
2・ノズルを持ちホースを取り出し、ノズルのコックを全開して放射してください。

作図中のネジに関しての表現で、「開」は外す、「閉」は締める事を示します。

ヤマトプロテック株式会社

D・消防検査後の処置。

一度使用した後は、必ず次の処置を行ってください。行わない場合は、次に使用したときに放射不能になることがあります。

1・パッケージ型消火設備の周囲の汚れを防ぐため、養生シート等を使ってください。

2・窒素ガス容器のハンドルを右に回して「閉」になっていることを確認し、圧力調整器の接続部をゆるめ、ガスの残っていないことを確かめてから❷消防検査用加圧チューブを取り外してください。

3・連結チューブを❶消防検査用タンクの上部から外した後、❶消防検査用タンクと❷消防検査用加圧チューブを接続している袋ナットを外してください。

4・固定バンドのツメを上げながらバンドを引き抜き、取り外してください。窒素ガス容器を格納箱から取り出してください。

5・ホースを接続部から外し、格納箱から取り出してください。

6・ビスをゆるめチューブ連結金具を取り外してください。

7・❶消防検査用タンクをA-4の手順で格納箱から取り出してください。また、タンク上部のバルブカバーを外してバルブを取り出し、タンク内の水を残らず出してください。

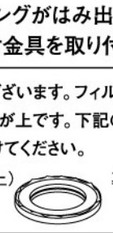
8・チューブ連結金具の封板取付金具をはずし、Oリング2個及び封板を取り出してください。(Oリング、封板、Oリングの順です)。❸連結チューブプラグ(2ケ所)も取り外してください。

9・使用した❶消防検査用タンク、バルブ、ホース、ノズル、チューブ連結金具の内面と外面をエアブローで水分を取り除いてください。

10・チューブ連結金具にOリング(1個目)を入れてから、予備封板※を入れその上に2個目のOリングを入れてください。Oリングがはみ出さないように注意しながら、封板取付金具を取り付けてください。

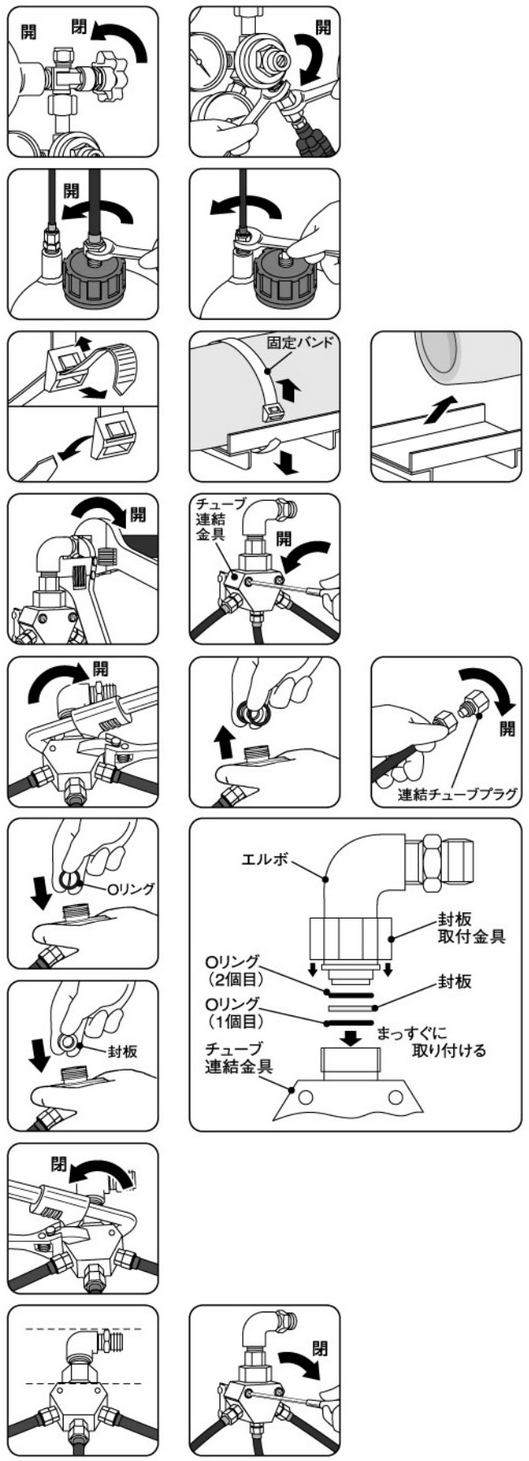
※封板には表裏がございます。フィルムがはみだしている方(継目がある面)が上です。下記の図を参考に間違わないように取り付けてください。

表面(上)　裏面(下)



※予備封板は格納箱に貼付しています
(消防検査用セット品には含まれておりません)

11・封板取付金具をチューブ連結金具にエルボと平行になるように締め付け、ビスでしっかり取り付けてください。

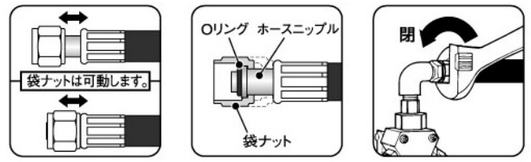


E・組立。

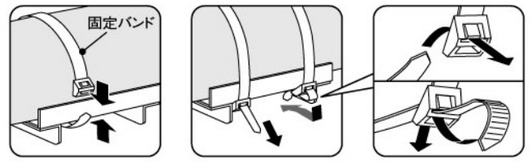
1・消防検査前に取り外した消火薬剤貯蔵タンクをA-5の手順で格納箱に固定してください。

2・ホースニップルにOリングのついていることを確認してください。ホース接続部に袋ナットを締め付け、手で緩まないことを確認してください。

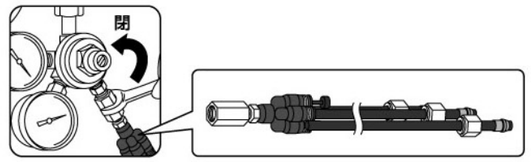
※Oリングがついていないと漏れの原因となりますので、必ず確認してください。



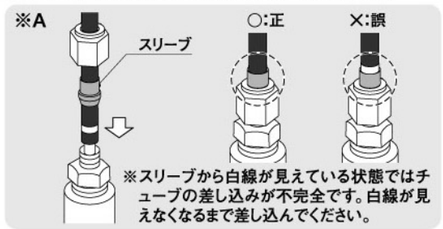
3・次に、空になった窒素ガス容器から圧力調整器を外し、❹新しい窒素ガス容器に取り替えて格納箱に納め、固定バンドで固定してください。

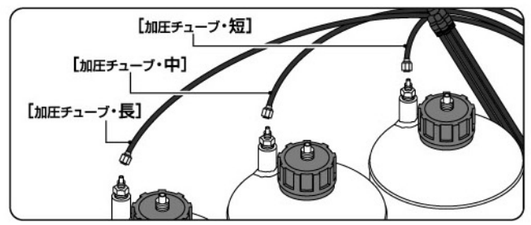


4・加圧チューブ(3本のもの)を、圧力調整器の接続部に接続し、締め付けてください。



5・先に加圧チューブを加圧口接続金具に、きっちりと差し込んでください。袋ナットを締め付けるときは、**加圧チューブを押しながら工具を使って締め付け、手で抜かないか確認して**ください。[※A図参照]
(同じ手順で残り2本の加圧チューブも、加圧口接続金具に取り付けてください。)
加圧チューブは[長・中・短]の3種類がありますので、間違わないように取り付けてください。



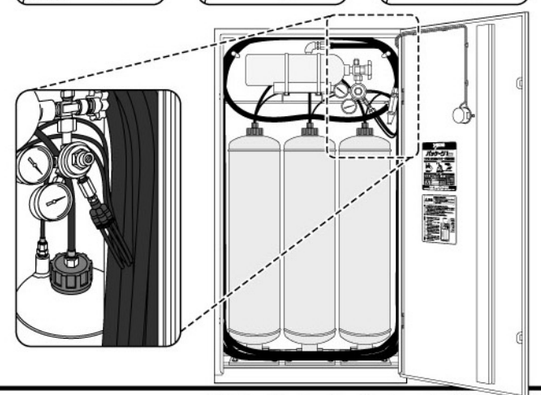


6・次に連結チューブをバルブに、きっちりと差し込んでください。袋ナットを締め付けるときは、**連結チューブを押しながら工具を使って締め付け、手で抜かないか確認して**ください。[※A図参照](同じ手順で残り2本の連結チューブも、バルブ部分に取り付けてください。)

7・この取扱説明書表面に記載している「ホースの巻き方」を参考にホースを格納箱に収納してください。

⚠ 注意	加圧チューブはホースの後ろ側にセットしてください。

8・作業が終わったら、銘板の設置上の注意事項を確認してください。



作図中のネジに関しての表現で、「開」は外す、「閉」は締める事を示します。